



技術商社[®]
株式会社 ジェイテック



証券コード
2479

ONE TEAM

—いまこそ、1つに—

株式会社 ジェイテック

2024年3月期 決算説明資料

2024年5月31日
代表取締役社長 藤本 彰

技術職知財で価値を創造していく

<https://www.j-tec-cor.co.jp/>

目次



(1) 会社概要

ジェイテックグループについて	P. 3
メインビジネスモデル	P. 4
技術職知財リース事業	P. 5

(2) 第28期（2024年3月期）決算概要

連結損益計算書（通期）	P. 7
連結損益計算書（四半期別）	P. 8
業種別売上構成（連結）	P. 9
売上上位顧客企業（上位10社）	P. 10
技術要員構成（連結）	P. 11
要因分析（JTEC単体）	P. 12
売上高要因分析 4要素	P. 13
利益要因分析 2要素	P. 17
連結貸借対照表	P. 19
連結キャッシュフロー計算書	P. 20

(3) 第28期（2024年3月期）状況総括

技術者派遣業界の事業環境	P. 22
法制度関連における当社の人材派遣	P. 23
新規受注状況について	P. 24
配当について	P. 25

(4) 経営理念の実践

経営理念	P. 27
経営理念の施策	P. 28

(5) 新規事業

“まなクル”とは	P. 35
まなクル（リスクリングビジネス）	P. 36
まなクル（空間ビジネス）	P. 37
まなクル（店舗所在地）	P. 38

(6) 中期経営計画（2025年3月期～2027年3月期）

基本目標	P. 40
業績目標（連結）	P. 41

ONE TEAM



(1) 会社概要

(2) 第28期 (2024年3月期) 決算概要

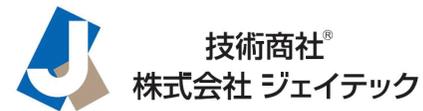
(3) 第28期 (2024年3月期) 状況総括

(4) 経営理念の実践

(5) 新規事業

(6) 中期経営計画 (2025年3月期～2027年3月期)

(1) 会社概要 ジェイテックグループについて



技術者の地位向上と業界最高の収入を実現し
創造的個人経営者集団を形成させる。



技術商社[®]
株式会社 ジェイテック

代表取締役 藤本 彰
資本金 2億6,183万円
社員数 282名 (2024年3月末)
技術職知財リース事業
(機械、電気電子、ソフトウェア)
設立 1996年8月16日



株式会社 ジェイテック
アドバンステクノロジー

代表取締役 藤本 彰
資本金 5,000万円
社員数 152名 (2024年3月末)
一般派遣及びエンジニア派遣事業
介護・福祉サービス事業
有料職業紹介事業、紹介予定派遣事業

(1) 会社概要 メインビジネスモデル

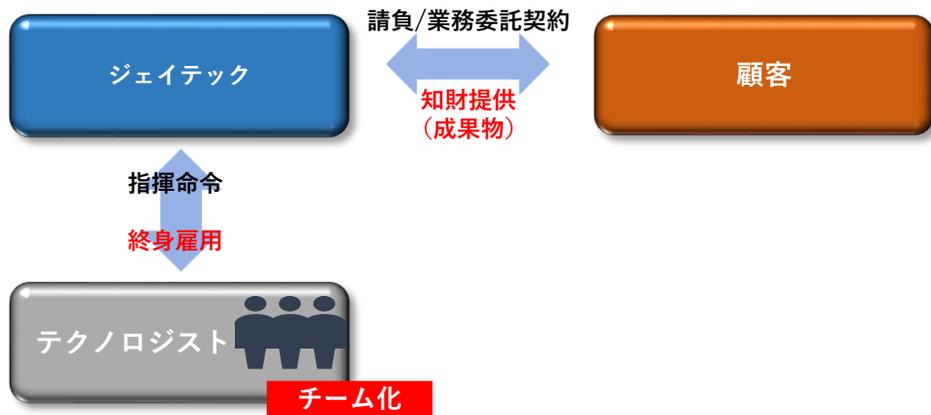


技術商社®
株式会社 ジェイテック

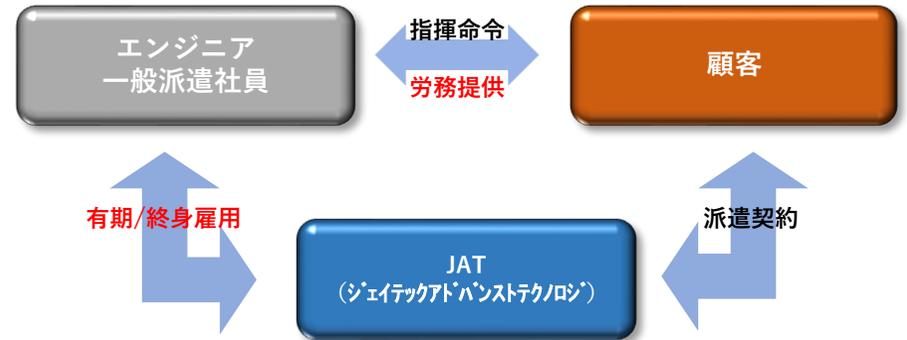
技術職知財リース事業（派遣）



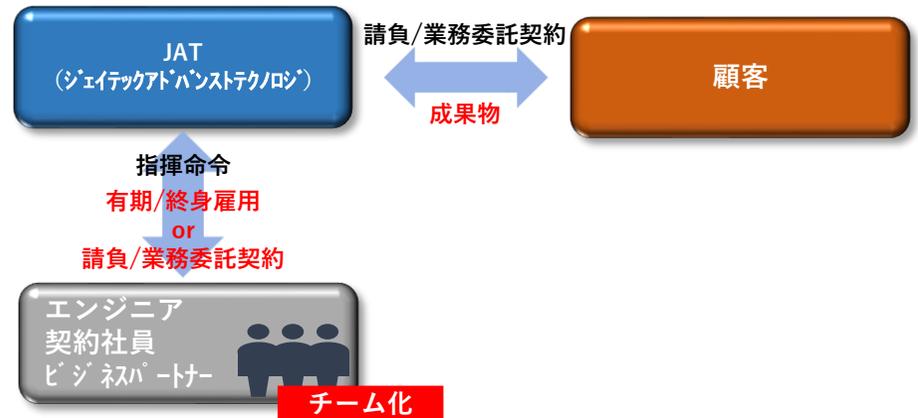
請負型技術職知財リース事業（請負/業務委託）



一般派遣及びエンジニア派遣事業（派遣）



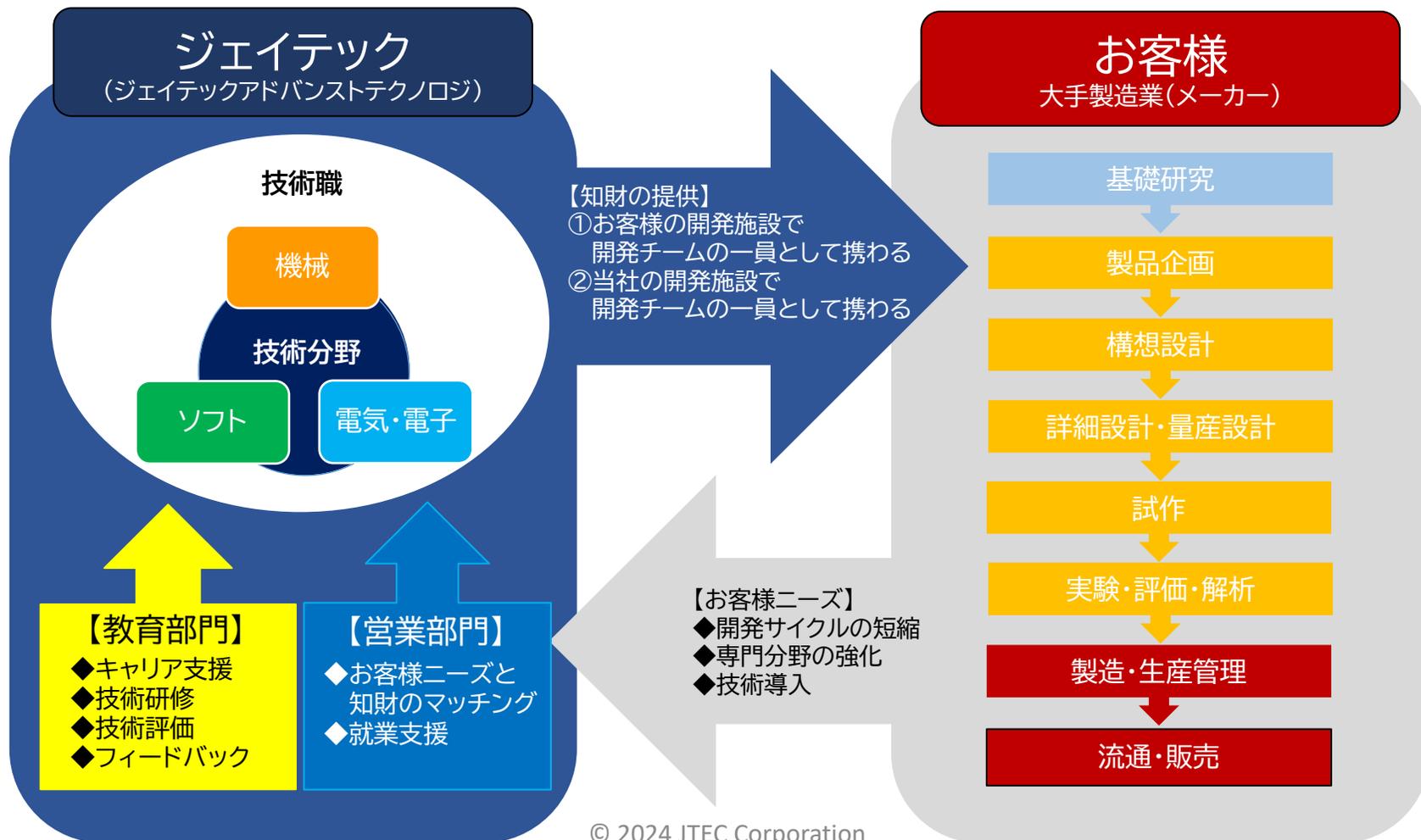
請負/業務委託事業



(1) 会社概要

技術職知財リース事業

お客様が抱える様々な技術課題を、弊社が持つ知財（技術力・専門知識・知恵）を提供することで解決していく事業です



ONE TEAM

(1) 会社概要



(2) 第28期 (2024年3月期) 決算概要

(3) 第28期 (2024年3月期) 状況総括

(4) 経営理念の実践

(5) 新規事業

(6) 中期経営計画 (2025年3月期～2027年3月期)

(2) 第28期 (2024年3月期) 決算概要 連結損益計算書 (通期)



技術商社[®]
株式会社 ジェイテック

- 売上高 : 前年同期比 2.0%増加
 - ・増収 ⇒ 単価上昇、稼働率好調
- 売上原価 : 前年同期比 1.3%減少
 - ・人件費は増加 ⇒ 外注費が減少
- 販管費 : 前年同期比 5.7%増加
 - ・人件費が増加 ⇒ その他は抑制
- 営業利益 : 前年同期比 28.7%増加
 - ・51百万円増加 ⇒ 損益分岐点を大幅超え、利益率も向上

	2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期		対前年 増減値 (百万円)	対前年 増減率
	実績 (百万円)	構成比	実績 (百万円)	構成比	実績 (百万円)	構成比		
売上高	2,991	100.0%	3,177	100.0%	3,242	100.0%	65	2.0%
売上原価	2,303	77.0%	2,220	69.9%	2,191	67.6%	-29	-1.3%
売上総利益	688	23.0%	957	30.1%	1,051	32.4%	94	9.8%
販管費	806	26.9%	778	24.5%	822	25.4%	44	5.7%
営業利益	-118	-3.9%	178	5.6%	229	7.1%	51	28.7%
経常利益	117	3.9%	217	6.8%	226	7.0%	9	4.1%
税金等調整前 当期純利益	112	3.7%	212	6.7%	226	7.0%	14	6.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	60	2.0%	131	4.1%	163	5.0%	32	24.4%

(単位：百万円)

© 2024 JTEC Corporation

(2) 第28期 (2024年3月期) 決算概要 連結損益計算書 (四半期別)

2023年3月期									
	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	
売上高	782	100.0%	796	100.0%	805	100.0%	794	100.0%	
売上原価	558	71.4%	596	74.9%	522	64.8%	543	68.4%	
売上総利益	223	28.6%	199	25.1%	283	35.2%	251	31.6%	
販管費	197	25.3%	190	23.9%	179	22.2%	211	26.6%	
営業損益	25	3.3%	9	1.1%	104	13.0%	39	5.0%	
経常損益	37	4.8%	25	3.2%	111	13.8%	43	5.5%	
親会社株主に帰属する当期純損益	10	1.3%	21	2.7%	78	9.8%	20	2.6%	

前期

全Qとも対前期比で売上高増

全Qとも対前期比で原価率が低減、特に3Qパフォーマンス最良

全社的に販管費圧縮、まなクル展開費用もすべて完了

2024年3月期									
	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	
売上高	812	100.0%	812	100.0%	829	100.0%	788	100.0%	
売上原価	570	70.3%	569	70.1%	529	63.8%	521	66.1%	
売上総利益	241	29.7%	242	29.9%	300	36.2%	267	33.9%	
販管費	209	25.8%	209	25.7%	203	24.6%	200	25.4%	
営業損益	31	3.9%	33	4.2%	96	11.6%	67	8.5%	
経常損益	31	3.9%	33	4.1%	96	11.6%	65	8.2%	
親会社株主に帰属する当期純損益	17	2.2%	15	1.9%	70	8.5%	60	7.6%	

今期

引き続き、原価率が全Qとも対前期比でさらに低減

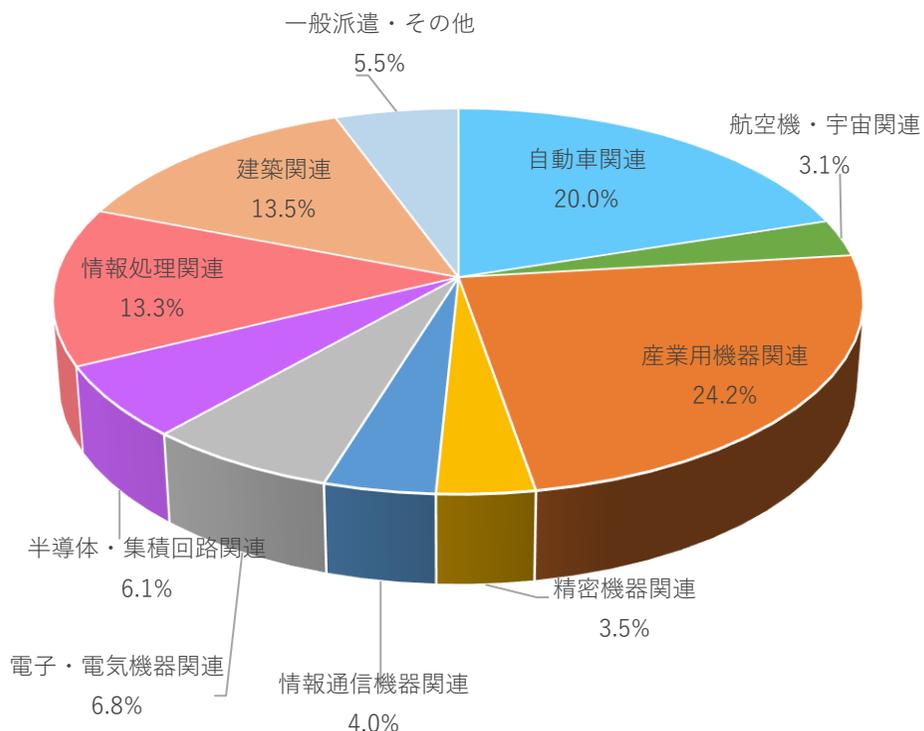
雇用調整助成金など営業外収益がゼロとなったが前期越え

(単位：百万円)

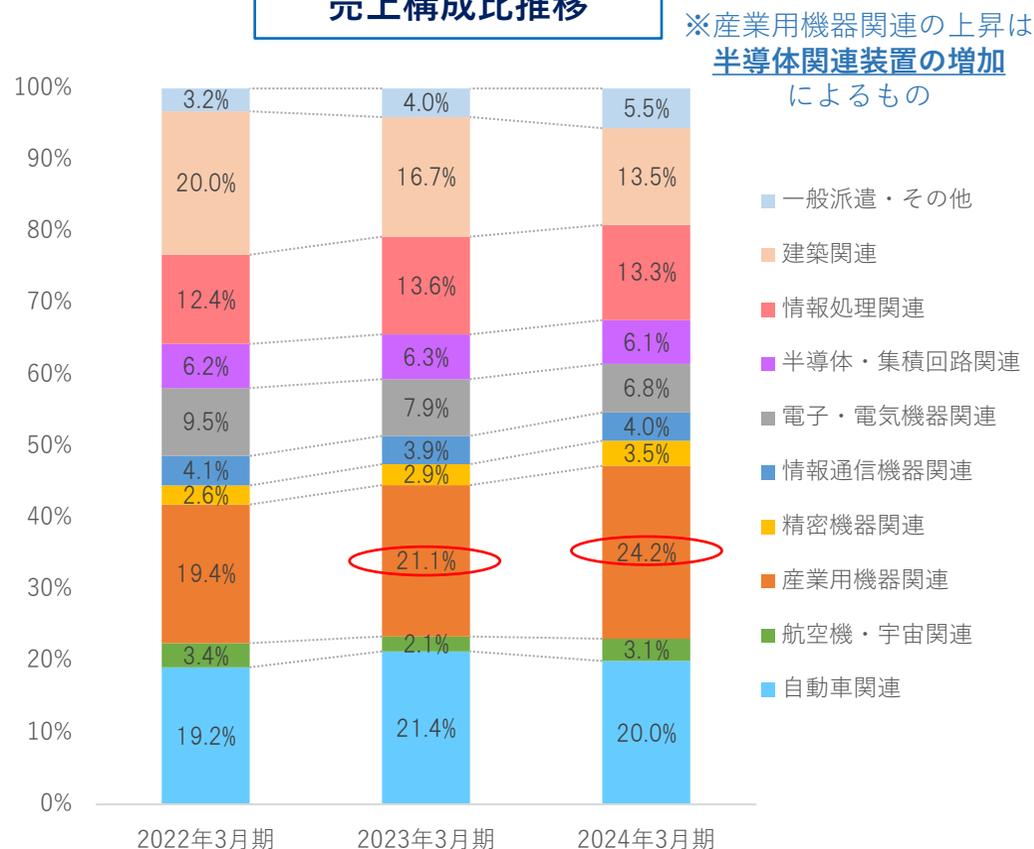
(2) 第28期 (2024年3月期) 決算概要 業種別売上構成 (連結)

- 自動車関連：全体の20.0%
- 建築関連：全体の13.5%
- 産業用機器関連：全体の24.2%
- 業種別売上構成比の分散化は継続

業種別売上構成



売上構成比推移



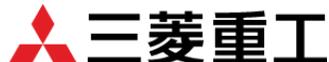
(2) 第28期 (2024年3月期) 決算概要 売上上位顧客企業 (上位10社)

- 幅広い業種の顧客企業と取引
- 上場企業、及び優良中堅企業160社以上

- 高単価・高付加価値業務は一定シェア維持
- 情報通信・産業用機器関連の需要が堅調



DENSO TEN



- デンソーテン
- ヤマハ発動機
- 本田技研工業
- アイシン・ソフトウェア
- 日立GEニュークリア・エナジー
- ヤマハ
- 三菱重工業
- 東レエンジニアリング
- 村田機械
- LIXIL

AISIN アイシン・ソフトウェア株式会社

※敬称略・順不同

(2) 第28期 (2024年3月期) 決算概要

技術要員構成 (連結)

➤ 在籍数

● テクノロジスト数

2023年4月1日付 **435名**
2024年3月期末 **385名**

● 新卒採用 (技術系)

2023年4月入社 **52名**
(2024年4月入社 **43名**)

➤ 状況：

● 退職者数

26期 **14.1%** (68名)
27期 **14.6%** (65名)
28期 **12.0%** (52名)

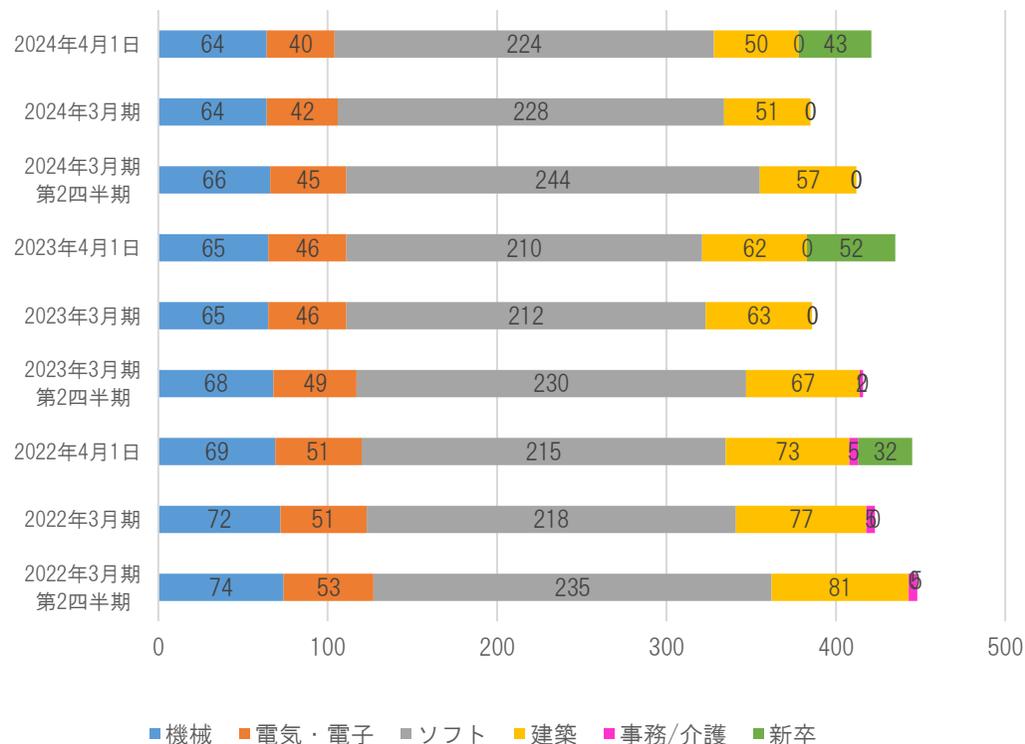
● 人手不足：技術系人材は高需要 業界内：競争激化

⇒ 大手企業の引き抜きも一要因

● 対策：時流に則した待遇等

- ・ 離職率抑制
- ・ 採用強化

技術分野別テクノロジスト数推移 (連結)

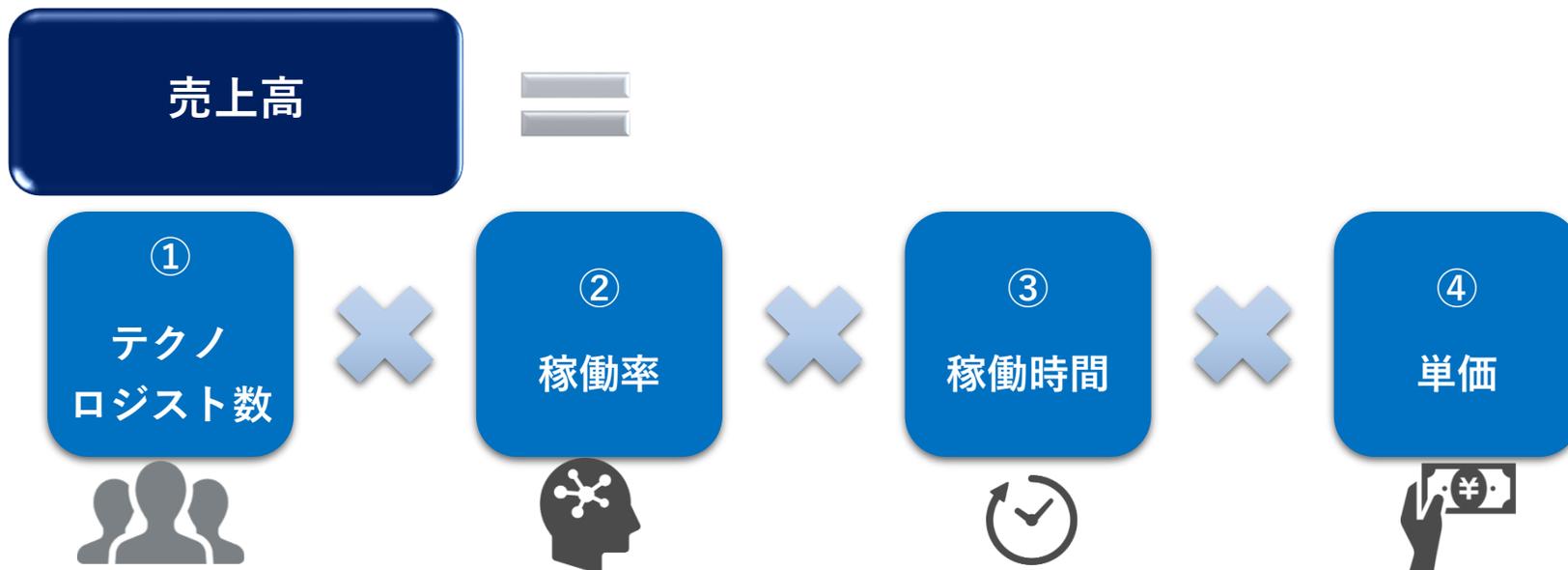


(単位：人)

(2) 第28期 (2024年3月期) 決算概要 要因分析 (JTEC単体)

◆売上高要因分析 4 要素

- ① テクノロジスト数 ② 稼働率 ③ 稼働時間 ④ 単価



◆利益要因分析 2 要素

- ① 売上原価 ② 販売費および一般管理費

(2) 第28期 (2024年3月期) 決算概要

売上高要因分析 4 要素

① テクノロジスト数 (JTEC単体)

➤ 在籍数

● テクノロジスト数

2023年4月1日付 210名

2024年3月期末 212名

※単体の在籍者数 安定的

⇒いまこそ、1つに

● 新卒採用 (技術系)

2023年4月入社 7名

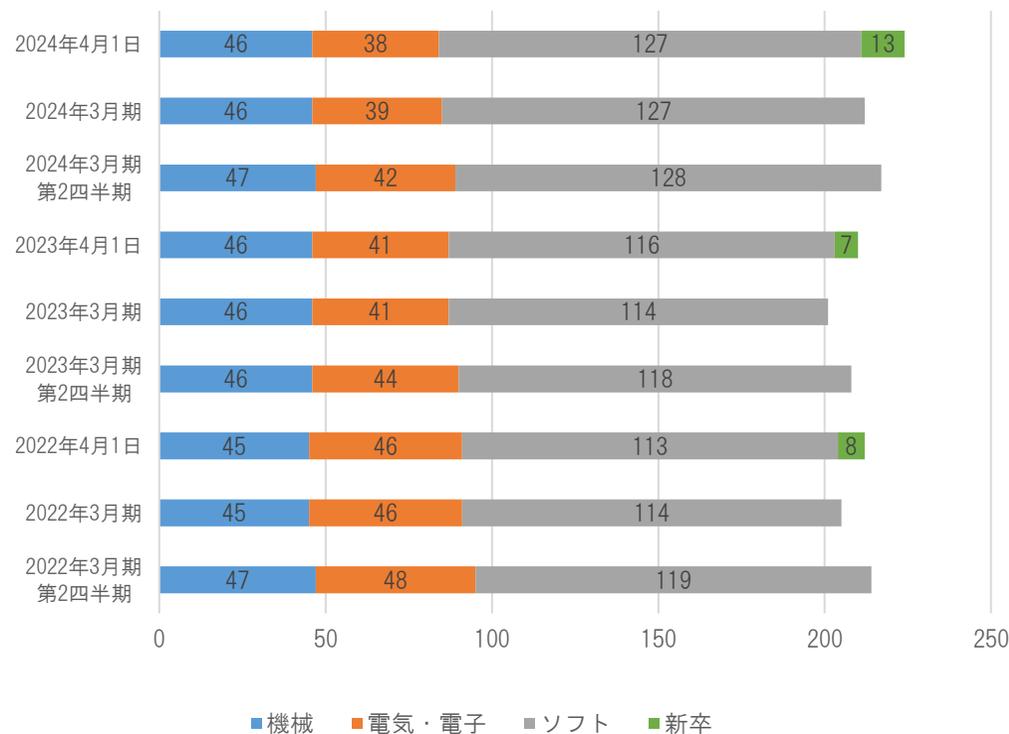
(2024年4月入社 13名)

➤ 分野比率

ソフトウェア系テクノロジスト

5割強

技術分野別テクノロジスト数推移 (単体)



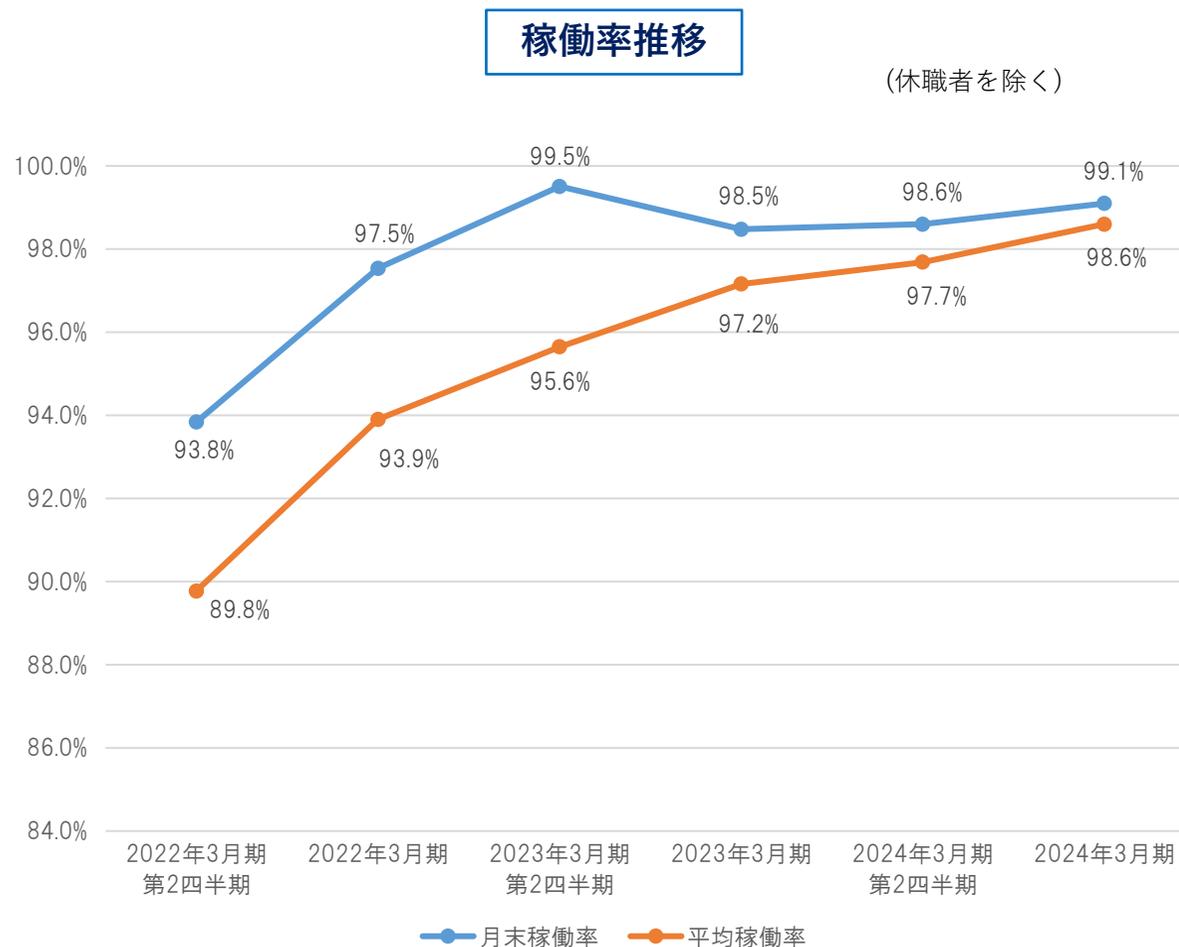
(単位：人)

(2) 第28期 (2024年3月期) 決算概要

売上高要因分析 4要素

② 稼働率 (JTEC単体)

- 新卒52名のうち JTEC単体 7名
(子会社JATに45名配属)
- 社会経済活動 正常化方向
営業活動等制限は徐々に緩和
- 平均稼働率 右肩上がり
- 2024年3月末 稼働率 99.1%
(ほぼフル稼働)
- 高水準域で推移



(2) 第28期 (2024年3月期) 決算概要

売上高要因分析 4 要素

③ 稼働時間 (JTEC単体)

➤ 平均月間工数 175.5時間/人

低減方向、働き方の変化

⇒ 概ね下限値

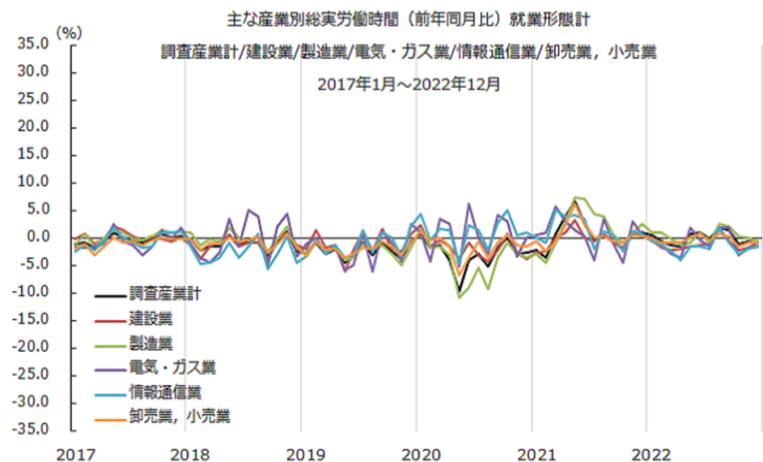
景況感の盛り返し

残業時間の増加等

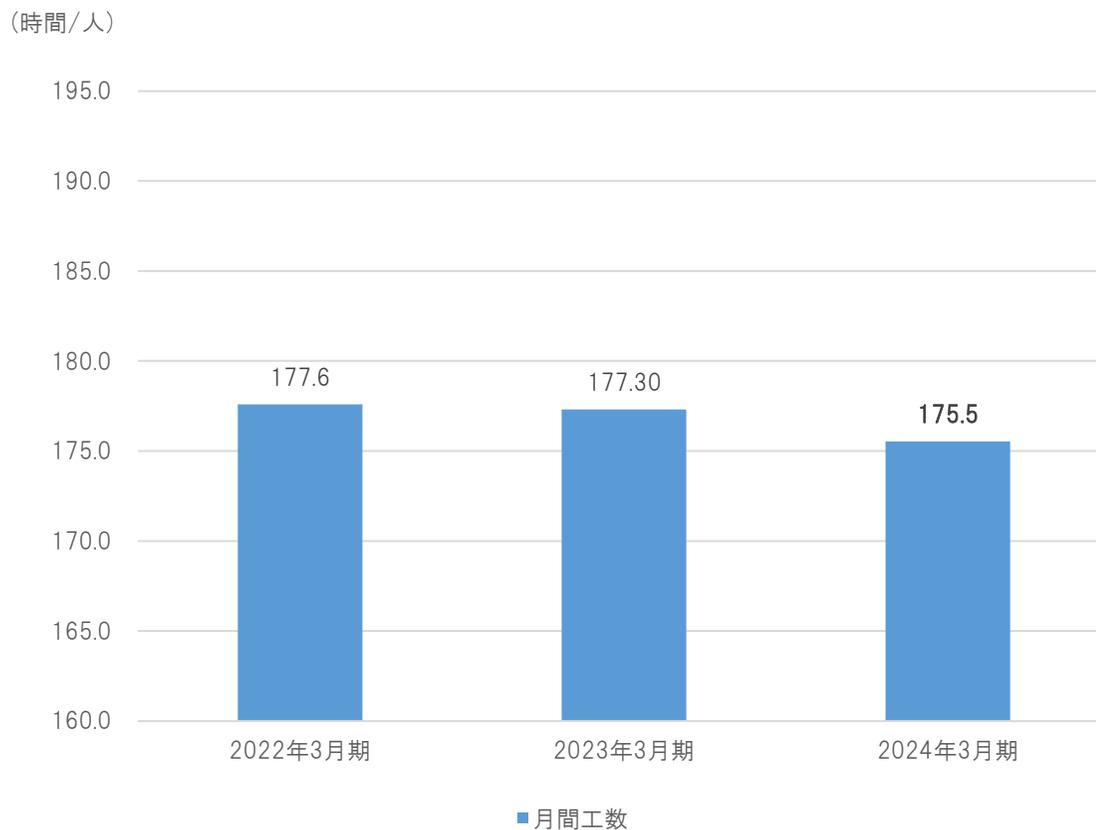
需要回復効果

に期待

(参考) 主な産業別総実労働時間(前年同月比)



平均月間工数の推移



(2) 第28期 (2024年3月期) 決算概要

売上高要因分析 4 要素

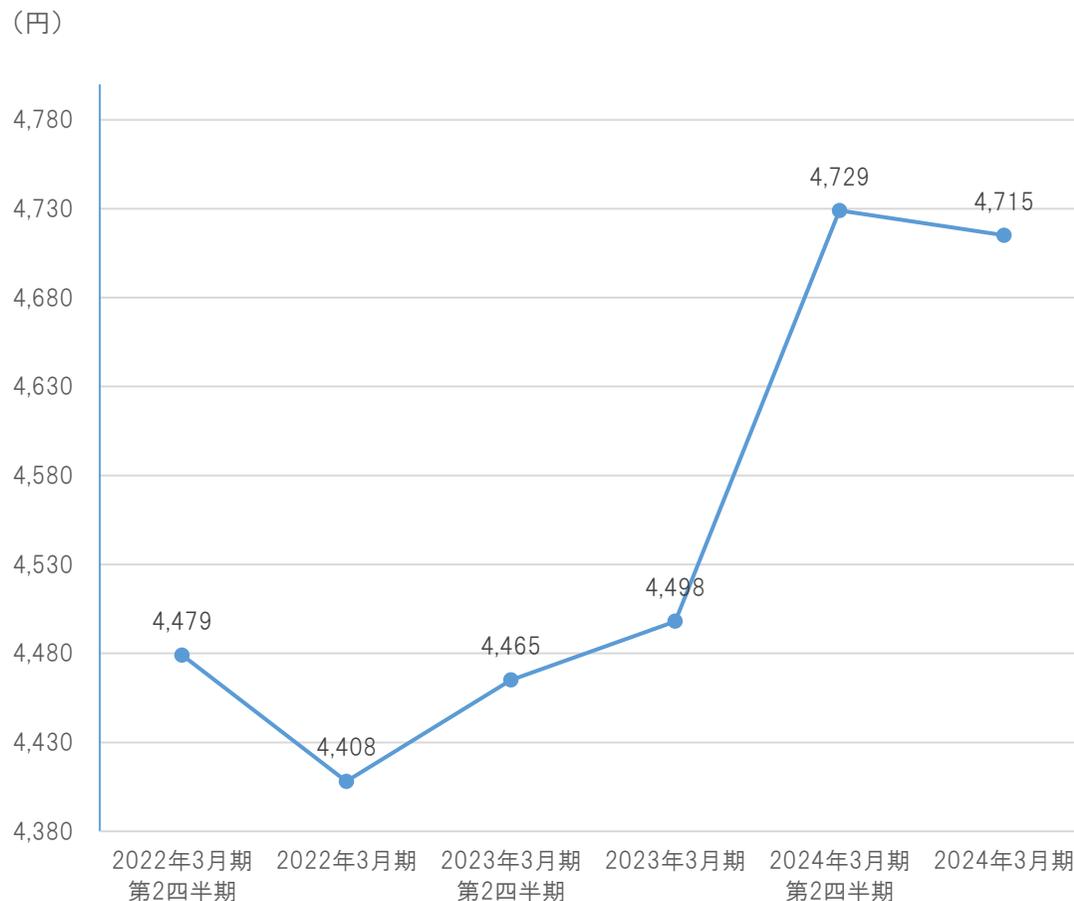


④ 平均単価 (JTEC単体)

- 2022年3月期末 V字回復
- 2023年3月期 上昇傾向が継続
- 2024年3月期 前年同期比さらに上昇
 - ・ 第2四半期は4,729円
(下落前の平均単価を大幅越え)
 - ・ 下半期は若干押し下げ
(新卒テクノロジストが本格稼働)

※2024年4月も価格改訂に注力
(現在も交渉中)

平均単価の推移



※知財リースのみの単価

(2) 第28期 (2024年3月期) 決算概要

利益要因分析 2要素

① 売上原価 (JTEC単体)

➤ テクノジストの賃金待遇を改善

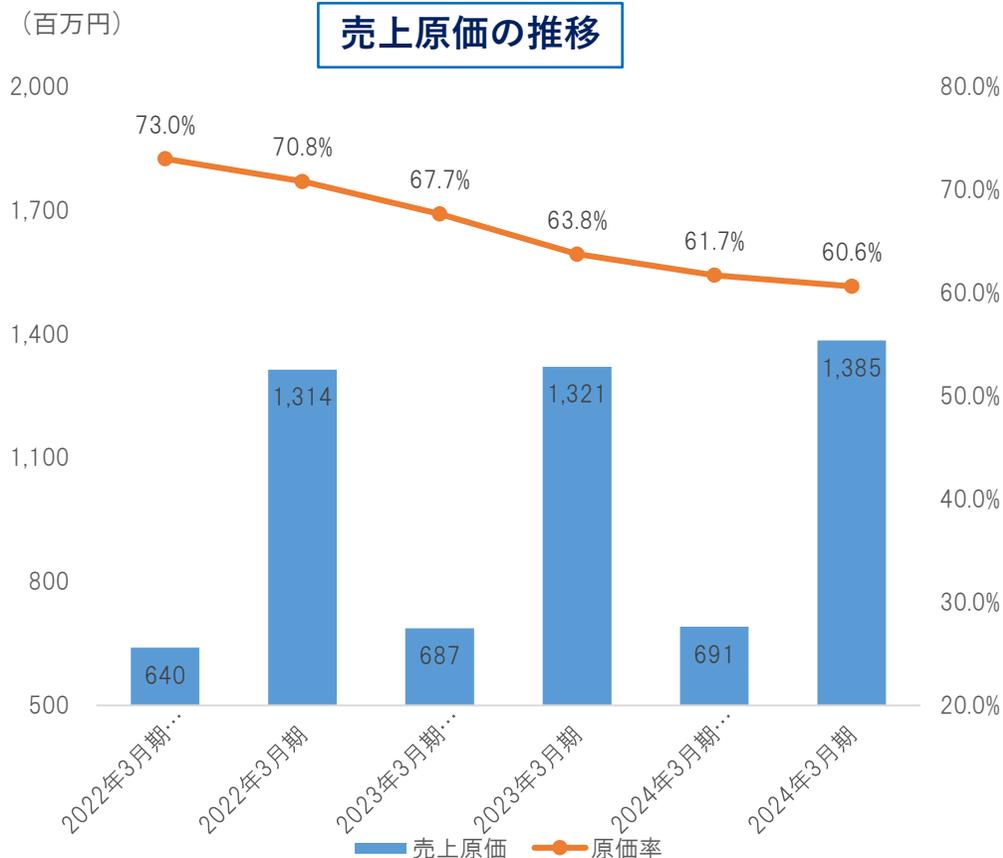
⇒ 原価は上昇 (賞与/昇給)

- ・ コロナ禍でも継続的に賞与/昇給実施
 - 27期：昇給 2回実施 (定期 2.46%、臨時 0.5%)
賞与 4.5カ月分支給
 - 28期：昇給率 4.5 %、賞与 4.5カ月分支給
 - 29期：昇給率 5.038 %、賞与 4.5カ月分支給 を予定
- ・ 人的資本の尊重、モチベーション向上

➤ 原価率は低下傾向

単価/稼働率 向上

➤ 新規事業 売上寄与



(2) 第28期 (2024年3月期) 決算概要

利益要因分析 2要素

② 販管費 (JTEC単体)

➤ 販管費率は一層低下

人件費等の増加要因があっても
販管費と販管費率は低下した

- ・ 広告宣伝費
- ・ 業務委託費

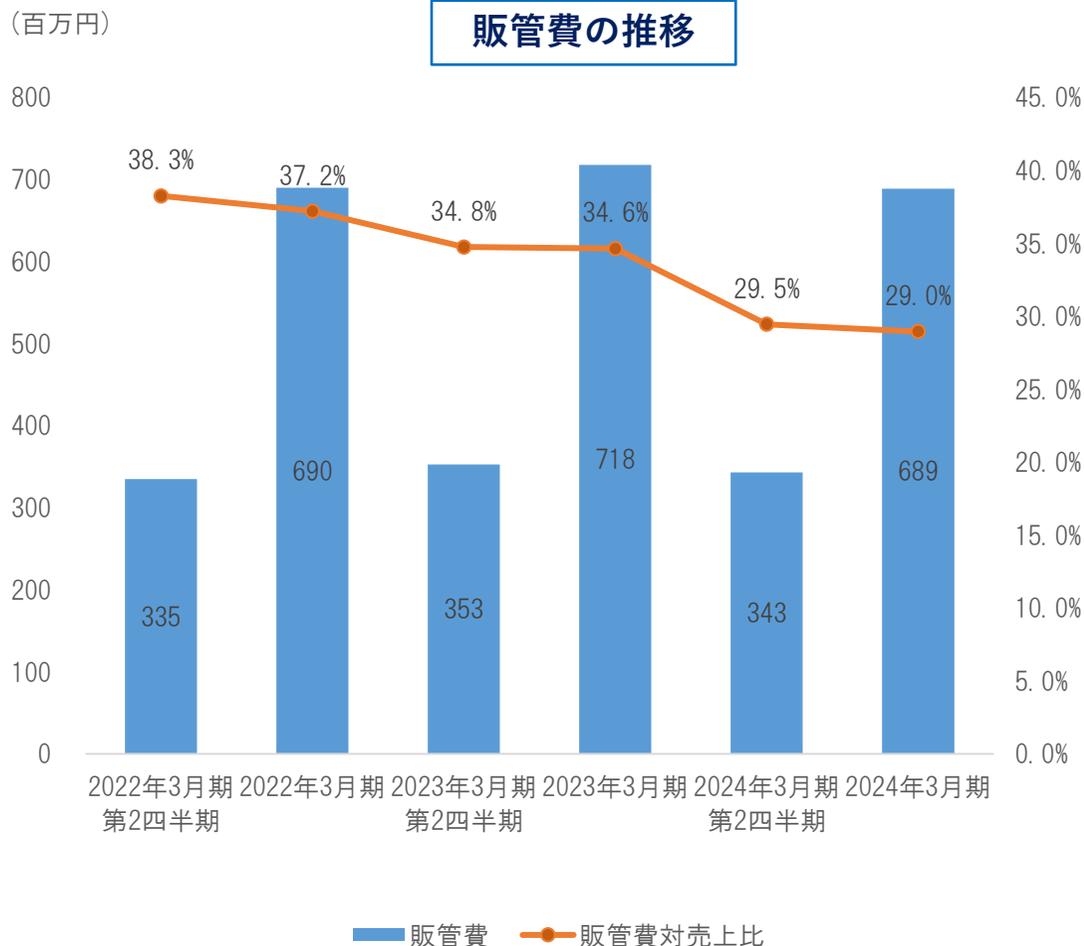
⇒ 勢力的な展開を緩めて控え目に実施

➤ 更なる効率化と合理化を推進

- ・ 利益を重視

利益体質の強化を図る

⇒ ROEを重視



(2) 第28期(2024年3月期) 決算概要

連結貸借対照表

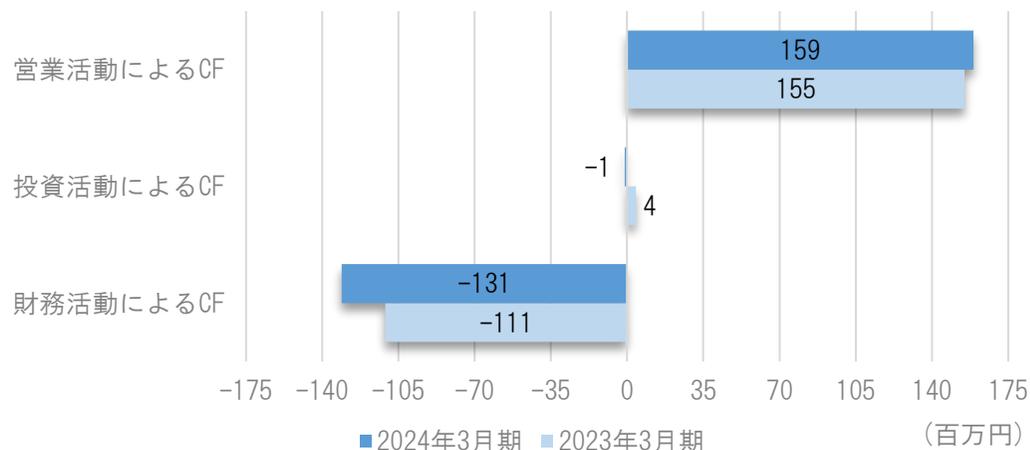
▶ 純資産：自己資本比率58.4%（前期比5.3%増（2期連続で5%超増加））

科目	2023年 3月期	2024年 3月期	増減額	主な要因
流動資産	1,852	1,909	57	現金及び預金、売掛金の増加
有形固定資産	44	38	△ 6	建物附属設備の減少
無形固定資産	1	1	0	
投資その他の資産	113	110	△ 3	敷金及び保証金の減少
資産合計	2,012	2,060	48	
流動負債	544	522	△ 22	1年内返済予定の長期借入金の減少
固定負債	399	335	△ 64	長期借入金返済による減少
純資産	1,068	1,202	134	利益剰余金の増加
負債純資産合計	2,012	2,012	0	

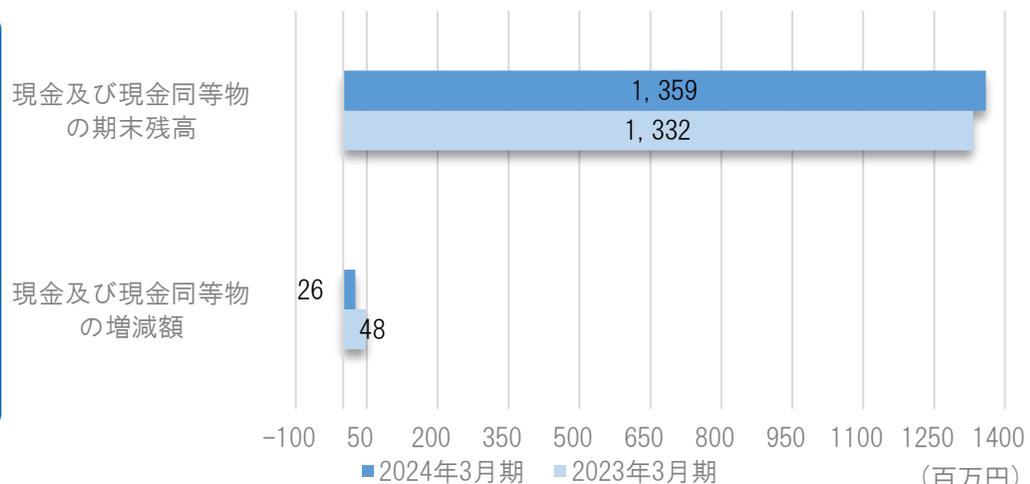
(単位：百万円)

(2) 第28期 (2024年3月期) 決算概要 連結キャッシュフロー計算書

- 営業活動による CF :
 - 当期純利益計上
- 投資活動による CF :
 - 敷金及び保証金回収、有形固定資産取得
- 財務活動による CF :
 - 長期借入金返済



- 現金及び現金同等物の期末残高
 - 前期比26百万円増の1,359百万円
- 現金及び現金同等物の増減額
 - 長期借入金の返済、当期純利益の計上で全体で26百万円増



ONE TEAM

(1) 会社概要

(2) 第28期 (2024年3月期) 決算概要

➔ (3) 第28期 (2024年3月期) 状況総括

(4) 経営理念の実践

(5) 新規事業

(6) 中期経営計画 (2025年3月期～2027年3月期)

市場環境

- 回復傾向 (人手不足、需要増加)
- 新型コロナウイルス感染は収束
- ロシア情勢等 世界経済への影響 (依然 先行き不透明感)
- 電気自動車や燃料電池関連/DX等 (普及加速)
- 自動運転/AI等の開発業務 (旺盛)

注目業界

- 研究・開発
半導体 自動車関連
- 情報技術分野
AI、IoT、ビッグデータ活用、
クラウド、量子コンピュータなど
- 情報通信分野
次世代移動通信(第6世代)の実用化

人材業界

- ITエンジニア新規有効求人倍率
⇒ 3.8倍 (2024年3月)
※前年同期 3.1倍 (+0.70ポイント)
- 人材獲得競争 依然熾烈
上流工程の技術派遣 ⇒ 景気影響受けにくい

(3) 第28期 (2024年3月期) 状況総括

法制度関連における当社の人材派遣

➤ 働き方改革への対応

2024年3月期も引き続き、以下の課題に取り組んだ

- ・ 時流にあわせた法制度整備対応
- ・ リモート対応
- ・ 勤務形態
- ・ 自社開発ソフトのセキュリティ (強化/刷新)

➤ 労働者派遣法「同一労働同一賃金」運用強化への法的対応

(3) 第28期 (2024年3月期) 状況総括 新規受注状況について

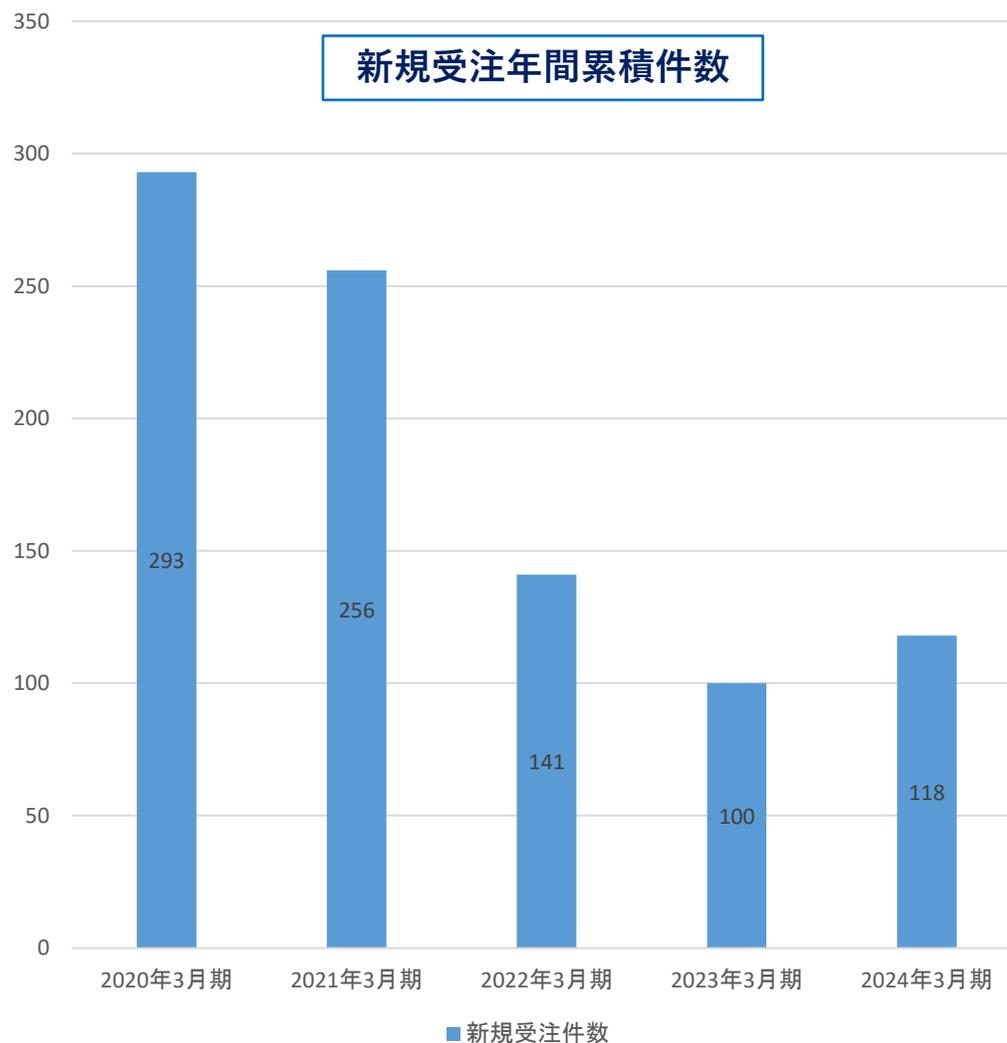
➤ 29期方針 (3点)

- ① 新規受注にも注力
- ② リピート受注は強化
- ③ 既存顧客とさらなる信頼関係

⇒ 上質なビジネス交流の展開

Win - Winな顧客関係を選別

- ・ 優良なお客様を新規開拓
- ・ 優良なお客様からリピート



(3) 第28期 (2024年3月期) 状況総括 配当について

➤ **1株当たり5円を継続** (定時株主総会に付議) 配当性向 24.4%

➤ **2025年3月期は増配計画中** (現時点では未定)

経営成績・財務状況と経済情勢を総合的に勘案

株主還元を意識して**最終利益確保に重点**

ROE (14.4% ⇒ 一層の向上)

	配当金	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
2023年3月期	5円	30.2%	4.0%
2024年3月期	5円	24.4%	3.5%
2025年3月期 (予想)	—	—	—

配当性向 (%) = 1株当たり配当金 ÷ 1株当たり当期純利益

純資産配当率 (%) = 1株当たり配当金 ÷ ((期首1株当たり純資産 + 期末1株当たり純資産) ÷ 2)

ONE TEAM

(1) 会社概要

(2) 第28期 (2024年3月期) 決算概要

(3) 第28期 (2024年3月期) 状況総括

➡ (4) 経営理念の実践

(5) 新規事業

(6) 中期経営計画 (2025年3月期～2027年3月期)

経営理念

技術者の地位向上と業界最高の収入を実現し
創造的個人経営者集団を形成させる

社訓

スピード アンド シンプル

全ての業務はスピードとシンプルを重要視する

① 人材採用と育成の強化

② 事業の多角化

① 人材採用と育成強化 < 基本方針 >

ジェイテックの教育方針

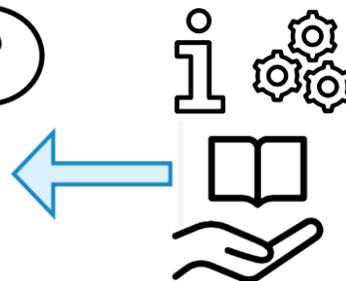
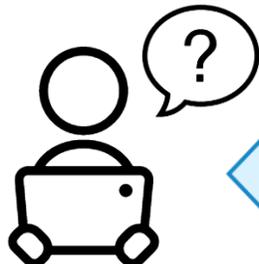
- ① 適応力を持った市場価値の高い技術者育成
- ② グローバル人材の育成
- ③ 社員への情報セキュリティ（機密保持）教育の強化

1人1人に緻密なフォロー
(全社員を対象にプロファイリングを推進)
～夢を叶える教育が、人材を創る～

採用

研修・技術支援

顧客・課題フォロー



① 人材採用と育成強化 < 育成制度の充実 >

技術専門教育とともに様々な教育・研修プログラムを提供

プレマネージャー制度

会社経営のノウハウや、
事業運営について学べる研修制度

マイスター制度

技術力と人間性を兼ね備え、社員の規範と
なるテクノロジストを対象とした認定制度

e-ラーニング

インターネットを利用した自宅学習システム
進捗度・習熟度をサポートする自社開発の
教育プラットフォーム

社外留学制度

国内外の大学院やビジネススクールに
「留学」し、自己スキルを高める制度

社内講習会

先輩社員・外部講師が講師となり
技術力向上を図れる勉強会

自己啓発支援

資格取得支援(受験料負担等)
展示会への参加(費用負担)

カスタマイズ研修

支援先の開発環境に合わせたツール習得
キャリア支援のフォローを目的とした研修

フォローアップ研修

キャリア支援のフォローを目的とした研修
入社2~5年目が対象で同期交流あり

まなクル講師育成

新規事業の教育関連分野における講師の
育成を目的とした研修でFC化推進も企画
教育・研修ノウハウを活用

① 人材採用と育成強化 < 動機付けの制度、知財の蓄積 >

【モチベーションの維持/刺激：高パフォーマンスに繋げる】

- **スター型賃金：業績連動型賃金**
派遣単価に連動した賃金制度の確立（技術力/市場価値の向上を狙ったもの）
- **プレマネージャー制度：次期幹部育成**
特定分野に特化した技術だけでなく、経営者的視点/思考を兼ね備えた人材育成
- **マイスター制度：優れたテクノロジストを認定**
- **社外留学制度：社外の教育機関で自己スキルを高める**

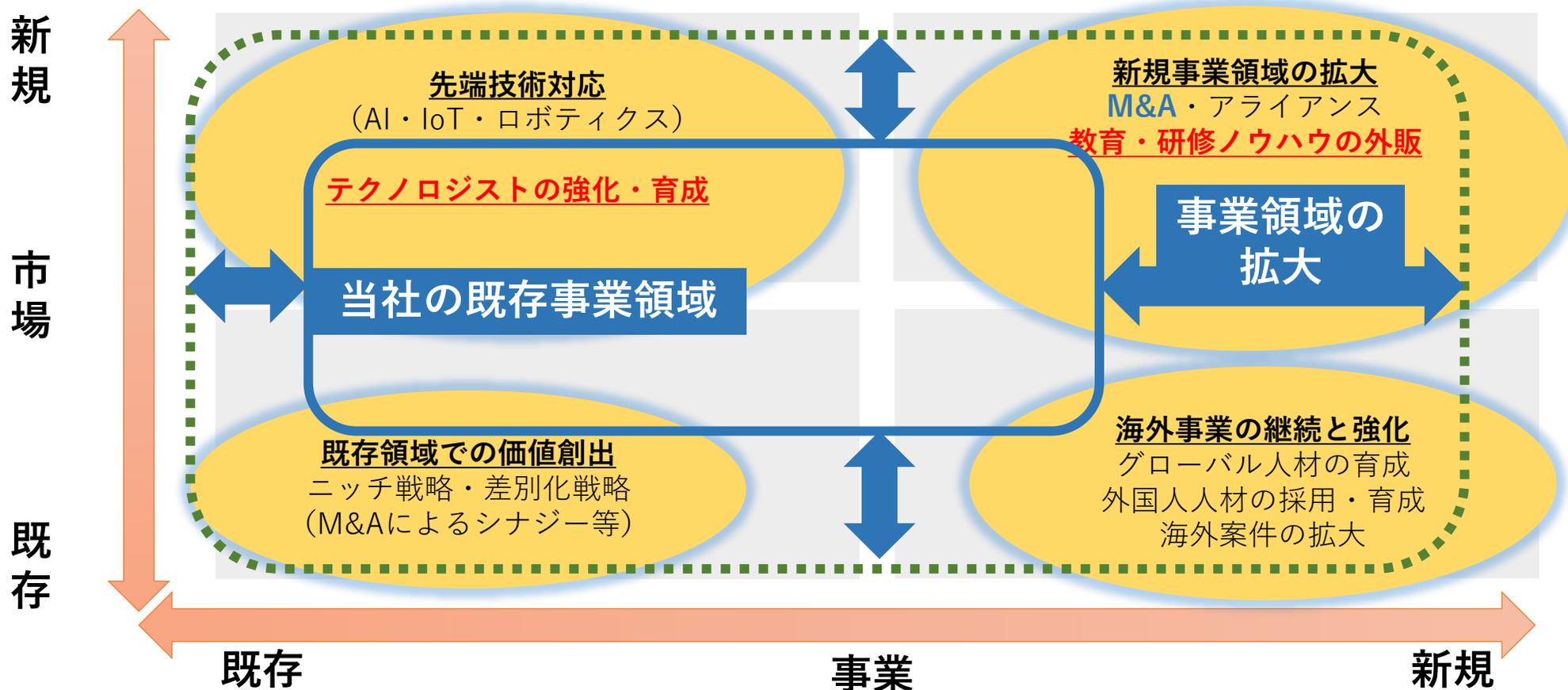
【蓄積ノウハウと展開】

- **クラウド：検定試験「共通クラウド技術検定試験」への協力/後援**
(主催/運営：NPO日本一般労働者派遣協会)
- **AI・量子コンピュータ：研究会を開催中**

(4) 経営理念の実践 経営理念の施策

②事業の多角化

既存事業の他、中長期的に技術力を基盤とした事業領域の拡大を狙う



(4) 経営理念の実践 経営理念の施策

技術/技術者を重んじる姿勢に立ち返り”名古屋証券取引所”にも上場

➤ 日本の技術を支える「中部エリア」を意識



2023年12月25日、名証メイン市場にも重複上場

➤ サステナビリティ 地域貢献活動に注力

”まなクル”が消防署から感謝状



まなクル浄心が、空間ビジネスの一環として
地域防災協力で設備を名古屋市西区に提供

ウインドサーフィンで学生を応援



大海原の自然の力と闘う大学生の大会を協賛

ONE TEAM

(1) 会社概要

(2) 第28期（2024年3月期）決算概要

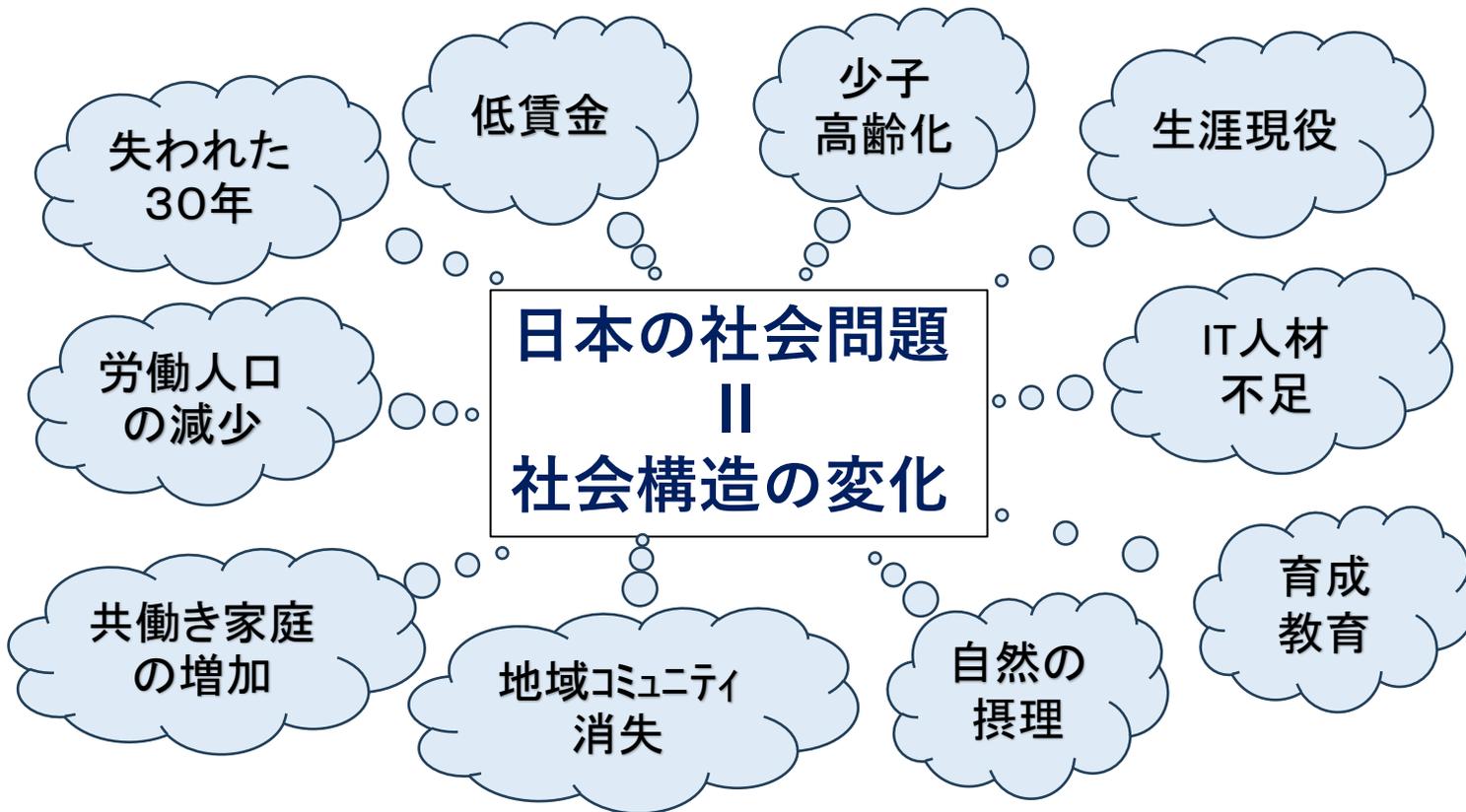
(3) 第28期（2024年3月期）状況総括

(4) 経営理念の実践

 (5) 新規事業

(6) 中期経営計画（2025年3月期～2027年3月期）

(5) 新規事業 ”まなクル”とは



まなクルとは、このような問題と時代の変化に対応する リスキリングビジネス
解決するための 空間ビジネス を展開中

(5) 新規事業 まなクル (リスキングビジネス)

B to C

求職者支援



職業訓練



社会人・学生



転職・就職支援
スキル教育



シニア



スキル教育
就職支援



ビジネススキル

- ・ Office、パソコン
- ・ デザイン
- ・ 文書作成
- ・ 簿記、財務経理

高度スキル

- ・ データサイエンス
- ・ AI
- ・ IoT
- ・ クラウド

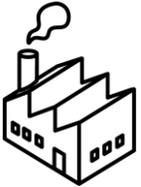
etc...

B to B

まなクルから生まれた人材を活用

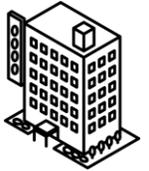
人材

知財リース



リース料
紹介料

人材紹介



研修

高度研修



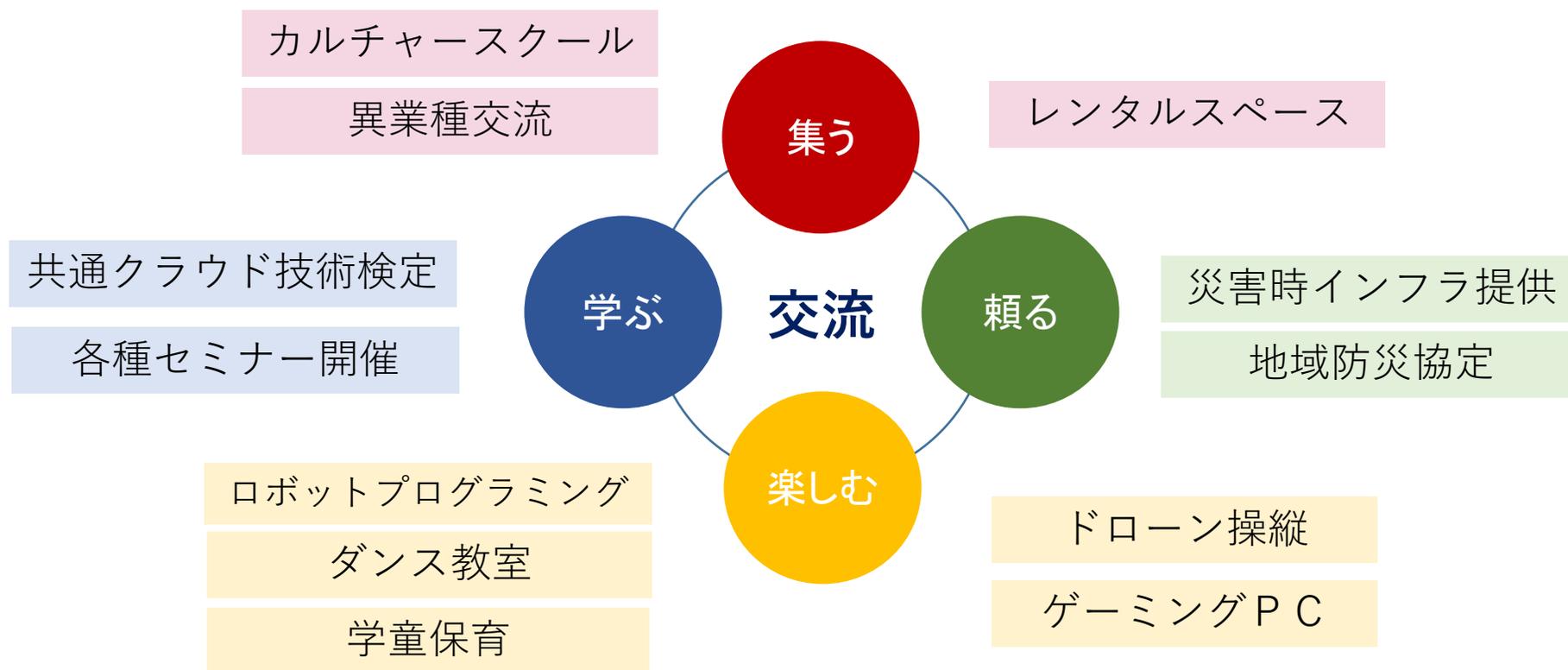
講師料

新卒研修

(5) 新規事業 まなクル (空間ビジネス)

生活のサイクルは 24 時間
年代・ライフスタイルのニーズに応じた空間提供

▶ 固定費を収益化

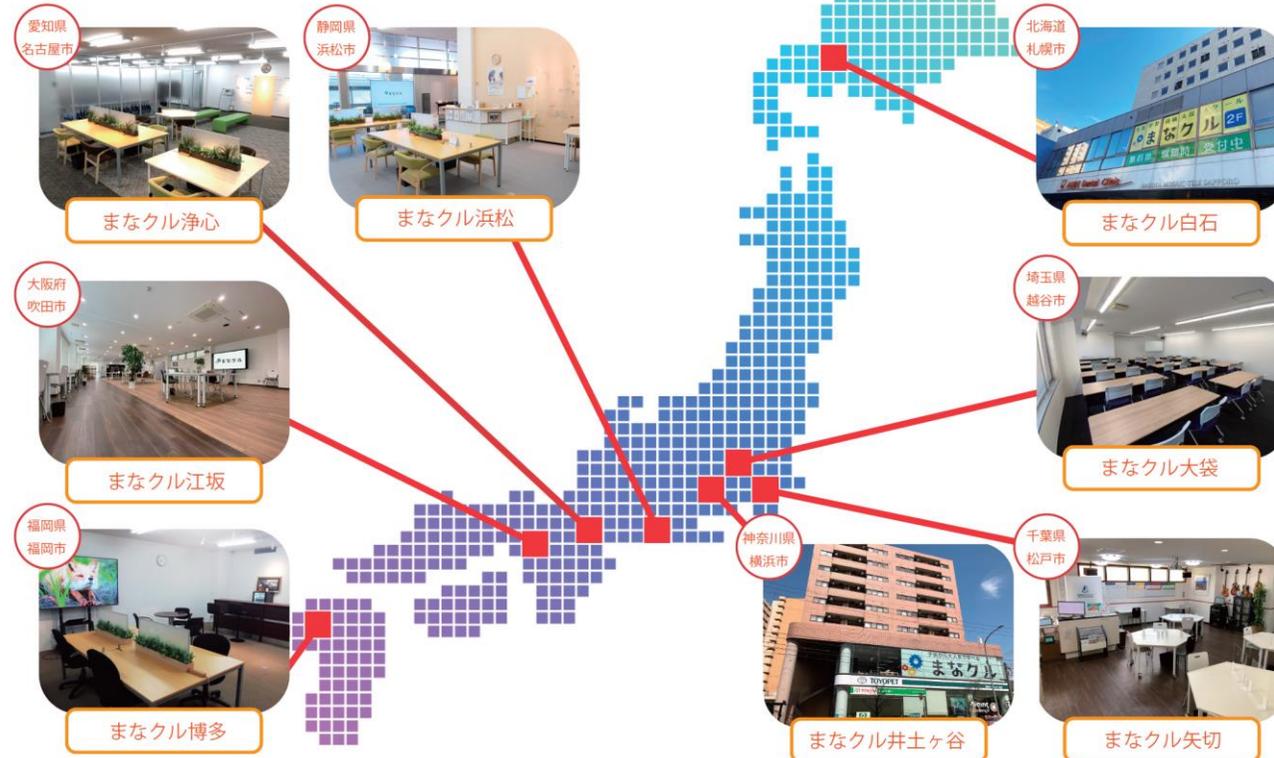


(5) 新規事業 まなクル (店舗所在地)



技術商社®
株式会社 ジェイテック

直営店： 全国 8 拠点



ONE TEAM

(1) 会社概要

(2) 第28期 (2024年3月期) 決算概要

(3) 第28期 (2024年3月期) 状況総括

(4) 経営理念の実践

(5) 新規事業

➡ (6) 中期経営計画 (2025年3月期～2027年3月期)

(6) 中期経営計画 (2025年3月期～2027年3月期) 基本目標

ONE TEAM

<いまこそ、1つに>

- **持続的な成長に向けた収益基盤の強化**
 - **テクノロジスト700名体制**
 - **特長あるテクノロジストの育成**
 - **テクノロジスト採用・営業の強化**
- **財務基盤の一層の強化と安定した株主還元**
 - **ROEに重点を置いた経営**
 - **配当等による株主還元**
- **投資拡大での成長促進と多角的な収益源確保**
 - **アライアンス・M&Aによる新技術分野進出**
 - **事業ポートフォリオ拡大による多角化**

技術職知財リース事業の基盤をより強固にして
企業価値・株主価値の向上を実現

(6) 中期経営計画 (2025年3月期～2027年3月期) 業績目標 (連結)

ONE TEAM

-いまこそ、1つに-

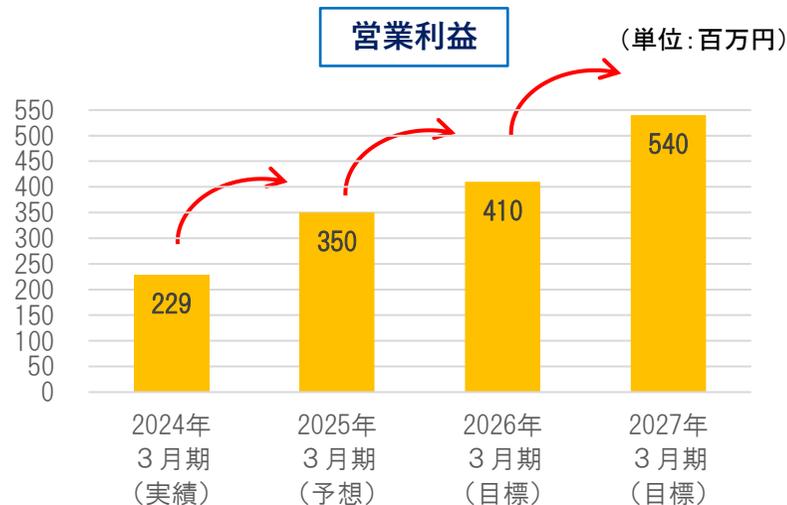
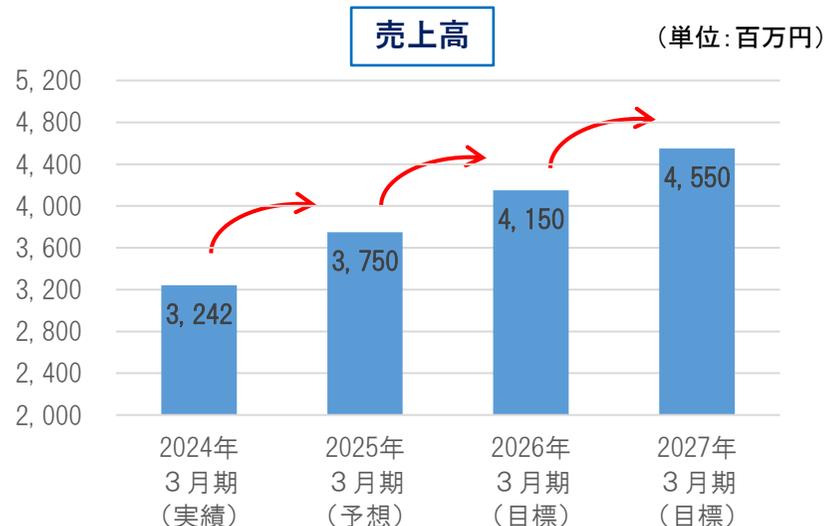
(単位:百万円)	2024年 3月期 (実績)	2025年 3月期 (予想)	2026年 3月期 (目標)	2027年 3月期 (目標)
売上高	3,242	3,750	4,150	4,550
営業利益	229	350	410	540
経常利益	226	350	410	540
親会社株主に帰属 する当期純利益	163	193	226	297

➤ 人員採用に注力

(早期700名体制と離職率低下を目指した人員採用を計画中)

➤ 利益率の高い構造に

(新規事業 "まなクル" の本格稼働と収益化)



参考資料

当社について

設立

1996年 8 月16日

代表者

代表取締役社長 藤本 彰

事業内容

- 技術職知財リース事業（技術者派遣及び請負業務）
- 機械設計開発、電気電子設計開発、ソフトウェア開発
- ソフトウェアの自社開発及び開発受託
- 有料職業紹介業務、介護事業
- 各種技術サービス・技術教育サービス・総合コンサルタント業務
- 一般派遣事業(連結子会社)

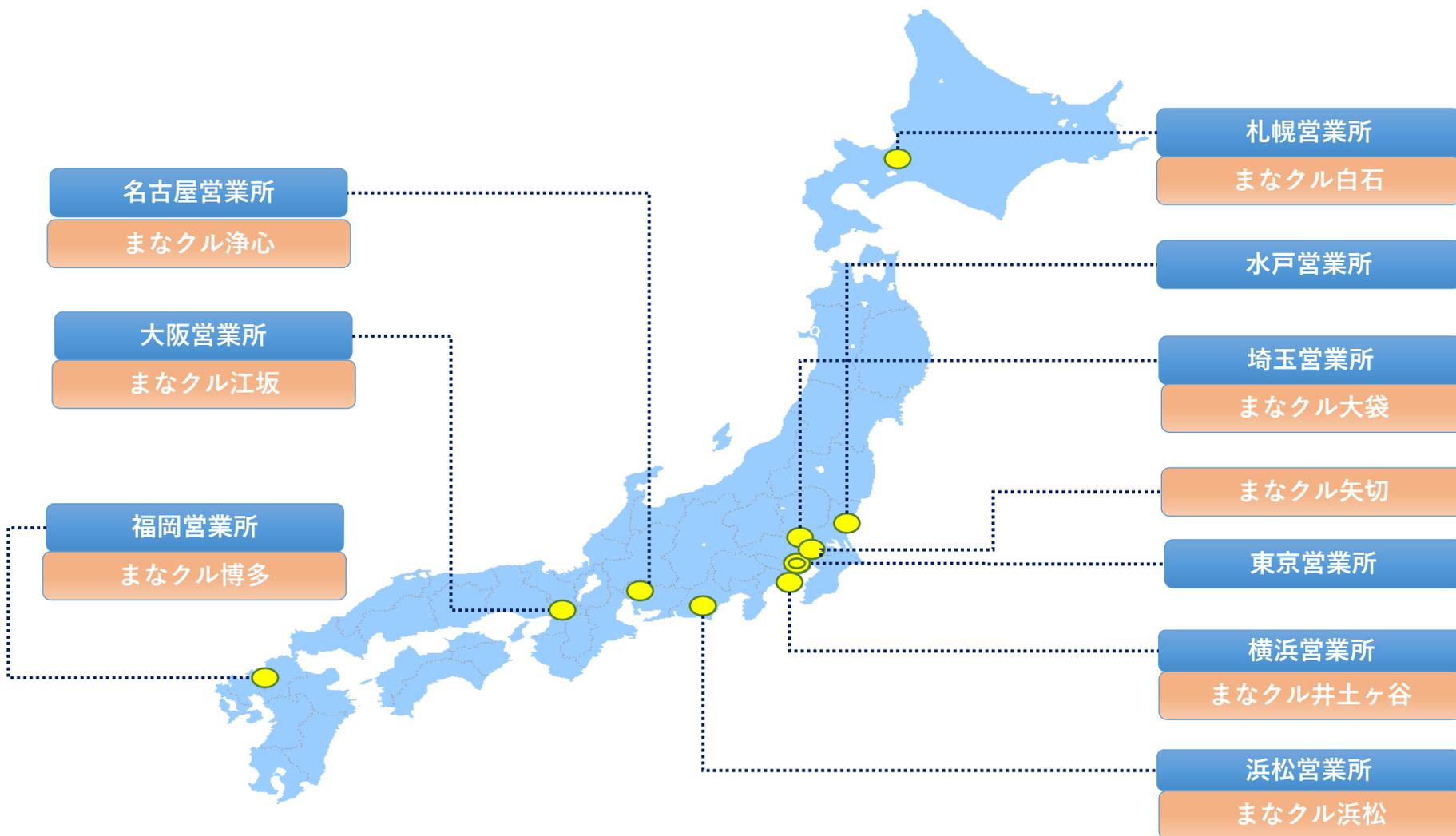
連結子会社

- 株式会社ジェイテックアドバンステクノロジー（当社100%出資）

従業員

282名（2024年 3 月31日現在）

全国事業拠点



ご高覧ありがとうございました

お問い合わせ：IR 担当窓口

部署 : 経営企画室
役職 : 室長
氏名 : 村田 竜三
電話 : 03-6228-6463
FAX : 03-6228-8866
E-Mail : ir-info@j-tec-cor.co.jp

将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。また、本資料における将来予想に関する記述につきましては、信頼できる各種データに基づいて作成しておりますが、その達成を当社として約束する趣旨のものではなく、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。